

日本赤十字社神奈川県支部現勢

令和5年4月1日現在

日本赤十字社の使命		わたしたちは、 苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、 いかなる状況下でも、 人間のいのちと健康、尊厳を守ります。	日本赤十字社スローガン 人間を救うのは、人間だ。
1949年のジュネーブ四条約締結国		196カ国	赤十字の基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性 世界の赤十字社・赤新月社等 (発行日(令和5年7月13日)時点) 191社
区分 内容	日本赤十字社(全国)	神奈川県支部	
1 沿革	1877年(明治10年)5月 1日 博愛社設立 1887年(明治20年)5月20日 日本赤十字社に改称 1952年(昭和27年)8月14日 日本赤十字社法制定	1887年(明治20年)12月20日 日本赤十字社神奈川県支部設立 (当時は神奈川県委員部)	
2 名誉総裁・ 名誉副総裁	名誉総裁 皇后陛下 名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下 常陸宮殿下・同妃華子殿下 三笠宮妃百合子殿下 寛仁親王妃信子殿下 高円宮妃久子殿下		
3 会員	個人 20.1 万人 法人 8.1 万法人	個人 1万777 人 法人 3,160 法人	
4 評議員	2,004 人	72 人	
5 代議員	223 人	6 人	
6 役員	社長 清家 篤 (常勤) 副社長 鈴木 俊彦 (常勤) 理事 十倉 雅和 (非常勤) 監事 61 人 3 人	支部長 黒岩 祐治 (神奈川県知事) 副支部長 首藤 健治 (神奈川県副知事) 上野 孝 (県商工会議所連合会会頭) 監査委員 伊藤 仁 (元神奈川県出納長) 小久保 篤 (元神奈川新聞厚生文化事業団専務理事・事務局長) 古谷 幸治 (元神奈川県公営企業管理者・企業庁長) 川名 勝義 (神奈川県福祉子どもみらい局長) 佐藤 広毅 (横浜市健康福祉局長) 石渡 一城 (川崎市健康福祉局長) 若林 和彦 (相模原市健康福祉局長) (令和5年7月1日現在)	
7 国際活動	(1) 国際救援・開発要員派遣 16 カ国 のべ 61 人 (2) 国際赤十字・赤新月社連盟出向 (スイス、マレーシア) 2 人 (3) 国際活動費 78 億円	(1) 国際救援・開発要員等派遣 0 カ国 0 人 (2) 安否調査 0 カ国 0 件 (3) 国際交流 派遣: 0 カ国 0 人 受入: 0 カ国 0 人 オンライン: 1 カ国 8 人 (4) 海外救援金受付 1,638 件 1億4,649万3,431 円 (5) 国際救援・開発協力支出額 500 万円 (ラオス、バングラデシュ、ルワンダ)	
8 国内災害救護	(1) 常備救護班 487 班 5,231 人 (2) 無線局 3,130 局 (3) 救護車両 2,206 台 (4) 赤十字飛行隊(特殊奉仕団) 99 人 (5) 災害等における救護員出動数 244 人 (6) 取扱義援金額 6億2,424万3,358 円 (7) 救援物資配分数(毛布・緊急セット等) 1万1,314 個	(1) 常備救護班 15 班 102 人 (2) 無線局 137 局 (3) 救護車両 71 台 (4) 防災ボランティア 371 人 (5) 火災・風水害・床上浸水援護世帯 230 世帯 (6) 取扱義援金額 783万6,768 円 (7) 配布援護物資(毛布・タオル・石鹸等の日用品) 80 個	
9 救急法等講習	(1) 救急法基礎講習 指導員 10,765 人 受講者 33,611 人 (2) 救急法 指導員 6,827 人 受講者 262,265 人 (3) 水上安全法 指導員 1,465 人 受講者 30,167 人 (4) 雪上安全法 指導員 203 人 受講者 367 人 (5) 幼児安全法 指導員 2,270 人 受講者 46,386 人 (6) 健康生活支援講習 指導員 1,709 人 受講者 30,059 人 計 指導員 23,239 人 受講者 402,855 人	(1) 救急法基礎講習 指導員 738 人 受講者 1,842 人 (2) 救急法 指導員 464 人 受講者 10,888 人 (3) 水上安全法 指導員 128 人 受講者 1,901 人 (4) 雪上安全法 指導員 16 人 受講者 0 人 (5) 幼児安全法 指導員 130 人 受講者 1,698 人 (6) 健康生活支援講習 指導員 81 人 受講者 1,069 人 計 指導員 1,557 人 受講者 17,398 人	
10 看護師等の教育	(1) 看護師 16 校 1,145 人 (2) 助産師 6 校 88 人 (3) 保健師 6 校 149 人 (4) 幹部看護師 1 校 120 人 (5) 介護福祉士 1 校 30 人	(1) 県内赤十字病院における奨学金貸与事業への助成 1,068 万円	

※一学年養成定員

区分 内容	日本赤十字社(全国)	神奈川県支部
11 医療事業 (※1)平成17年4月1日から 横浜市立みなと赤十字病院が 開院し横浜市が設置し、横浜 市の指定管理者として、日本赤 十字社が運営 (※2)平成22年4月1日から 相模原市の指定管理者とし て、相模原市立診療所(青野原・ 千木良・藤野)を日本赤十字社 が運営。(平成22年3月31日ま では、3診療所は神奈川県立)	(1) 施設 病院 91 診療所 5 老人保健施設 4 介護医療院 5 (2) 病床総数 34,777 床 (3) 入院患者 951 万人(1日平均 2.6 万人) (4) 外来患者 1,600 万人(1日平均 6.5 万人)	(1) 横浜市立みなと赤十字病院(※1) (634 床、実働 634 床) 入院患者 173,534 人(1日平均 475 人) 外来患者 274,431 人(1日平均 1,129 人) 病床利用率 75.0 % (2) 秦野赤十字病院 (320 床、実働 262 床) 入院患者 68,853 人(1日平均 189 人) 外来患者 113,020 人(1日平均 465 人) 病床利用率 72.0 % (3) 相模原赤十字病院 (132 床、実働 132 床) 入院患者 30,175 人(1日平均 83 人) 外来患者 87,939 人(1日平均 326 人) 病床利用率 62.6 % 診療所(青野原・千木良・藤野(※2)) 外来患者 13,524 人(1日平均 56 人)
12 血液事業	(1) 血液センター 47 附属施設 169 (2) ブロック血液センター 7 附属施設・分室 5 (3) 車両 移動採血車 282 台 献血運搬車 769 台 (4) 献血者数 成分献血 158 万人 400mL献血 330 万人 200mL献血 12 万人 計 500 万人 (5) 供給本数 輸血用製剤 1,724 万本	(1) 血液センター(神奈川県) 1 附属施設(湘南事業所) 1 (2) 出張所(献血ルーム) 8 (横浜市東口、横浜駅西口、横浜駅西口第二、二俣川、川崎駅東口、溝の口、藤沢、海老名) (3) 車両 移動採血車 11 台 献血運搬車 39 台 (4) 採血本数 成分献血 11万5,432 本 400mL献血 20万4,129 本 200mL献血 1万253 本 計 32万9,814 本 (5) 供給本数 赤血球製剤 21万7,232 本 血漿製剤 6万4,241 本 血小板製剤 5万3,967 本 計 33万5,440 本
13 赤十字ボランティア	(1) 地域赤十字奉仕団 2,088 団 806,027 人 (2) 青年赤十字奉仕団 150 団 5,111 人 (3) 特殊赤十字奉仕団 622 団 28,566 人 (4) 個人ボランティア 11,130 人 計 2,860 団 850,834 人	(1) 地域赤十字奉仕団 51 団 18,160 人 (2) 青年赤十字奉仕団 5 団 271 人 (3) 特殊赤十字奉仕団 37 団 1,689 人 計 93 団 20,120 人
14 青少年赤十字	(1) 幼稚園・保育所 1,780 校 147,304 人 (2) 小学校 7,099 校 1,947,234 人 (3) 中学校 3,459 校 973,227 人 (4) 高等学校 1,753 校 370,874 人 (5) 特別支援学校 210 校 20,279 人 (6) その他 137 校 35,237 人 計 14,438 校 3,494,155 人 指導者 288,355 人	(1) 幼稚園・保育園 9 園 901 人 (2) 小学校 36 校 14,467 人 (3) 中学校 33 校 9,258 人 (4) 高等学校 43 校 9,980 人 (5) 特別支援学校 4 校 808 人 (6) その他 0 校 0 人 計 9園 116 校 35,414 人 ※一貫教育校は中学校・高等学校の2校種でカウント
15 社会福祉事業	(1) 乳児院 8 (定員 291 人) (2) 保育所 3 (定員 348 人) (3) 児童養護施設 1 (定員 40 人) (4) 医療型障害児入所施設 3 (定員 286 人) (5) 特別養護老人ホーム ^{(1)(併設ケアハウス20人を含む)} 8 (定員 773 人) (6) 障害者支援施設 1 (定員 50 人) (7) 視覚障害者情報提供施設 2 (8) 補装具製作施設 1 (9) 複合型施設 1 特別養護老人ホーム (定員 110 人) 介護老人保健施設 (定員 100 人) 高齢者グループホーム (定員 18 人) 障害者支援施設 (定員 10 人)	神奈川県ライトセンター(視覚障害者支援施設) (神奈川県指定管理者制度に基づき日本赤十字社が運営) ① 情報提供事業 ② 指導訓練事業 ③ スポーツ振興事業 ④ ボランティア育成事業 ⑤ 普及啓発事業
16 施設・職員数	区分 施設数 職員数(人) 本社 1 538 人 支部 47 721 人 医療施設 116 59,091 人 血液事業施設 228 5,819 人 社会福祉施設 28 1,234 人 計 420 67,403 人 (正規職員のみ)	日本赤十字社神奈川県支部 33 人 横浜市立みなと赤十字病院 1,207 人 秦野赤十字病院 432 人 相模原赤十字病院 269 人 神奈川県赤十字血液センター 395 人 神奈川県ライトセンター 32 人 計 2,368 人
17 会計	(1) 一般会計 本社 147 億 8 千万円 支部 211 億 8 千万円 (2) 医療施設特別会計 1兆1,940 億 7 千万円 (3) 血液事業特別会計 1,630 億 2 千万円 (4) 社会福祉施設特別会計 159 億 4 千万円 (令和5年度当初予算)	(1) 一般会計(支出) 日本赤十字社神奈川県支部 10億3,437万647 円 (2) 医療施設特別会計(収益的支出) 横浜市立みなと赤十字病院 219億6,202万4,746 円 秦野赤十字病院 71億6,194万8,611 円 相模原赤十字病院 35億6,813万2,685 円 (小計) 326億9,210万6,042 円 (3) 社会福祉施設特別会計(支出) 神奈川県ライトセンター 3億5,346万9,512 円 (令和4年度決算)

(特に断りのない統計数字等は、令和5年4月1日現在・令和4年度実績)